

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	八女総合療育館（こんばす・こんばすⅡ・こんばすⅢ・藤家）				公表日	R8年 3 月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	12	広さが必要。日によっては人数に対して部屋が狭いと思う。職員の目の行き届かないスペースがある。急な送迎、職員の体調不良での配置の改善。	男女や学年でクラス分けをしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	15	その日のスタッフの休みによっては、スタッフが足りない時がある。複数人の配置が徹底されている。まれに状態に応じた職員数でないと思われるが相談し、他事業所より応援あり。職員数がかなり少ない。送迎時は各ユニットからのフォローが事前に必要。日により足りない日がある。	利用人数が多く行動に目が行き届かない事があるため規定人数以上配置をしている。見守る場所の改善を図る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	10	壁紙がやぶれていたり、コンセントカバーが外れている。構造化されていない。別館が車椅子の利用がしづらい。玄関先の段差を改善されると移動しやすい。	修理し対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	6	清掃、消毒等よくされている。	早朝より全館清掃している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	26	5	リハビリの際は個別	個別に対応する必要がある時は配慮されているが必ずスタッフと一緒に使用するようになっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	17	10		スタッフみんな役割があり、普段から声を掛け合って業務にあたっている。全員が療育に携わり、子供たちとこれからも関われる環境づくりに努めたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	9	評価表により業務改善につなげているかは不明であるが、日々保護者に対応している。	アンケートを参考にし指導にあたっている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	10	ミーティングやカンファレンス等の機会がない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	9	認知していない。	地域の方からの評価をいただけるように報告を行い話し合いをしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	3	定期的な研修や指導・教育がされていると思う。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	26	3		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	27	1		必要な児童には心理検査などを行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24	3		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	7		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	8		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	26	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	8		その日のリーダーが決め、周知している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	4	プログラムは固定化している。毎回違う活動をするよう工夫されてある。	様々なアイデアを出し合って決めている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	27	3		毎日個別と集団の介入ができるよう、短時間でも工夫して実施している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	6	打ち合わせはわからないが、リーダーが指示し、分担して取り組んでいる。	毎日ミーティングで各自の役割を確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	14	時々。支援終了後の振り返りはルーティンではないが必要時実施中	一人一人が声を掛けあい、なんでも共有できるように指導します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	7	記録をとることが、徹底されている。改善には至っていない。	全員が協力して改善に向かえるようにしていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	28	2		事業所全体で中間評価し、定期的に見直しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	22	5		放課後等デイサービスのガイドライン「4つの基本活動」に沿った支援を再度周知する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	23	5	自己決定の場面はかなり少ない。	いろんな活動の場面で自己決定できるようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	3		児童発達管理責任者が必ず対応している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	26	2		連絡を取り合い、すぐに対応できるような体制をとっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	25	4		連絡を取り合い、すぐに対応できるような体制をとっている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	26	2		卒園前に会議を設け、スムーズに進学できるように連携をとっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25	2		スムーズに移行できるように話し合いの場を設けており、情報共有をさせていただいています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	19	8	当館が児童発達支援センターのため専門家の助言等を常に受けていると思われる。	児童発達支援センターなのでその役割を受けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	21	8	1回だけありました	合同運動会や、山村塾などに参加し、交流をしている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	17	6		八女市の子ども部会やにも包括に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	7	「連絡帳」を活用し個々の利用者に対する支援内容、方法等について細かく記録し連絡されている。	お便り長や、送迎時等、子供の状況を口頭で保護者に伝える努力している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	11		希望者へのペアレントトレーニングを実施している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	3		児童発達支援管理責任者が責任をもって説明をしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	4		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	24	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	2		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	9	保護者参加のイベントがある。	秋まつりを行い普段の様子を感じていただいたり、子供たちが用意したゲームや飾り、おみこしなど楽しんでいただいています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	2		責任者が迅速に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20	6	おたより	お便り帳や不定期にこんばすだよりを発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	28	2		顧問弁護士による勉強会にて指導している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	7		いつでも連絡とれる体制を作っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22	7	様々な行事等が計画実施され地域にも開かれている。	今後はマルシェなども企画したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	27	2		職員は、訓練時に周知し必ず行っている。保護者には訓練したときにおたより帳にて様子をお伝えしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	26	3		職員は、訓練時に周知し必ず行っている。保護者には訓練したときにおたより帳にて様子をお伝えしている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	4		利用契約時に医師と看護師が確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	28	1		朝のミーティングでアレルギーについて全スタッフ確認を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	3		各委員会で安全に配慮し研修や話し合いをしている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	3		契約時に話をしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	27	3		ファイルにて全職員が確認できるようになっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	27			全員参加の研修が毎年行われている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	25	1		必要と判断され場合は、個別支援計画に記載し同意を得ている。	